

特集

ありがとう 松浦東高

— 62年の歴史に幕 —

県立松浦東高等学校が平成23年3月で閉校となり、62年の歴史に幕を閉じました。今月号では、東高のこの1年の活動の様子や、3月6日に行われた最後の卒業証書授与式、閉校記念式典の様子などを紹介します。



校歌

吉原英俊 作詞
市川良治 作曲

紫紺に映ゆる山々と
八十島煙る松浦の
自然の教え究めつつ
高き理想を胸に秘め
心一つに励むもの
あゝ我が梶の学園
緑の丘陵の広がりにて
土の香薫る松浦の
自然の恵み活かしつつ
技と力を我がものと
明日の世界に伸びるもの
いざや掲げん梶の葉を
玄海の波濤永遠に
歴史は古き松浦の
伝統今に受け継ぎて
自由と真と知を求め
世界の平和につくすもの
あゝ梶の葉に栄光あれ

有終の美を飾った47人の卒業生

開校以来、4, 417人の生徒を送り出してきた松浦東高。東高生は有為の社会人となるための勉学に励む一方、長年にわたり、ぎぎが浜清掃や今福駅などへの花苗植栽、苗木の寄贈、今福保育所での食育活動や読み聞かせ、今福小学校児童と交流をするなどの活動を積極的に行ってきました。

最後の卒業生となる47人は、これまで先輩たちによって代々受け継がれてきた地域貢献の精神をしっかりと受け継いできました。

特にこの1年は、有終の美を飾るべく卒業生4, 417人全員の思いも胸に、地域への感謝の気持ちを込めて、これまでの活動に加え、地元飾りみこし「和一処」や地域との合同体育祭・合同文化祭などにも取り組みました。



1



5



4



2



3

【写真の説明】

1 平成22年10月、今福くんちで「和一処」を披露。**2** 5月、今福保育所との食育活動。**3** 7月、地域婦人部とぎぎが浜清掃。**4** 9月、今福小6年生とミニパウンドケーキ作り。**5** 平成23年2月、今福保育所で読み聞かせ。**6**、**7** 2月、今福駅舎改修。



7



6